

1 地区の概況

東和東部地区は東和地域の東側に位置し、ほぼ中央を東西に猿ヶ石川が流れ、川を挟んで晴山地区と谷内地区があることから通称「晴谷の郷土」と呼ばれています。猿ヶ石川とほぼ並行に国道283号とJR釜石線が通り、交通の便に恵まれた地域です。

産業は農業が中心であり、水稻、野菜、果樹などが栽培されています。

地区内には、地場産の米粉を使ったパンづくりに取り組んでいる「おでって工房」や手打ちそばが楽しめる「谷内伝承工房館」、カブト虫と直接触れあうことができる「町井カブト虫童夢」など、多くの体験施設が整備されています。

また、旧小原家住宅や丹内山神社などの国・県指定有形文化財、倉沢人形歌舞伎や立石百姓踊りなどの県・市指定無形民俗文化財が数多く残され、この貴重な文化財を守り伝えていく活動が活発に行われており、豊かで特色のある地域文化が継承されています。

2 地区ビジョン【東和東部地区地域づくり基本構想】

(1) 将来像

地域住民間の相互信頼を育て、
健康で明るく住みよい地域づくりを目指します。

(2) 基本方針

いつまでも住み続けたい晴谷の郷土 健康で明るく元気なまちづくり
—この計画の実践はみなさんが主人公—

(3) 重点推進項目

① 安心安全な地域づくり

災害や犯罪、交通事故などを起こさないために、相互に連携して安心して暮らせる地域づくりに励みます。

② 産業振興でゆたかな地域づくり

既存の自給できる農林畜産物や伝統食、加工品など地域内で普及し、食べ物を通して顔の見える関係を築き地産地消を推進するとともに、生産者・消費者・商業・農業・個人・法人等が相互に信頼関係を育み、この地で生産されたモノに誇りが持てるような地域を築きます。

③ 恵まれた自然環境とともに歩む福祉の地域づくり

住民すべてが健康で快適な暮らしを営める生活環境や自然に負荷をかけない暮らしを目指すとともに、地域間の連携を深め「結いの心」「支えあいの心」を育みます。

「元気なうちは世話をする。弱くなったら世話になる」をモットーに、すべての人が地域の一員として胸をはって明るく元気に暮らしていけるような地域ネットワークを構築します。

④ 歴史・文化の薫る生涯現役の地域づくり

地域の活動拠点である学校の活用、跡地の活用を展望した構想、さまざまな世代が学びあえる環境づくり。また学習活動を通して、地域間の連携を強化していきます。それぞれの地域間の連携を強化していきます。それぞれの地域にある「オラホの宝」が「晴谷の宝」となる意識づくりを進めます。

東和東部地域づくり基本構想

いつまでも住み続けたい晴谷の郷土 健康で明るく元気なまちづくり

産 業振興でゆたかな地域づくり

農林畜産物や伝統食、加工品などの地産地消を推進し、この地で生産されたモノに誇りが持てる地域を築きます。



産 史・文化の薫る生誕現役の地域づくり

さまざまな世代が学びあえる環境づくりを推進し、それぞれの地域にある「オラホの魂」が「晴谷の魂」となる産業づくりを進めます。



安 心安全な地域作り

災害や犯罪・交通事故など起こさないために、相互に連携し安心して暮らせる地域づくりに努めます。



鯉ヶ石川の清流

谷内振興センター

こぶしの木

恵 まれた自然環境とともに歩む福祉の地域づくり

住居すべてが健康で快適な暮らしが出来るよう地域間の連携を求め「健いの心」「支えあいの心」を育みます。



丹内獅子舞

雪合戦

立石目黒湯